

トリア大学留学体験記 3月提出分

L244039 法文学部法経学科 2 回生 時山怜花

テストについて

ドイツ語の期末テストは口頭試験と筆記試験に分かれ、Lesen, Schreiben, Hören, Sprechen の 4 技能すべてが評価対象でした。中間テストとは異なり、期末テストはほぼすべてが作文問題で構成され、自分の考えを文章でまとめる力が求められました。私は文章を書くことに苦手意識があり、さらに想像していた試験内容ではなかったことから焦りに焦って、思うように自分の力を発揮することができませんでした。筆記試験は散々な結果でしたが、口頭試験で挽回することができ、最終的には A2.2 の授業に合格することができました。来学期は B1 の授業を受けることとなりますが、置いていかれないように春休みは復習に努めたいと思います。

旅行 チェコ・ポーランド

1 月中旬、私は週末を利用してチェコのプラハへ旅行に行きました。プラハを訪れる際は、「Kantýna」というレストランに行くことをオススメします。チェコで有名なビールや生の牛肉を使ったタルタルを味わうことができ、とても美味しかったです。

2 月中旬には、ポーランドのクラクフを訪れました。この旅行の大きな目的は、アウシュビッツ強制収容所を見学することでした。ドイツの歴史を振り返るうえで切り離すことの出来ない場所であり、ヨーロッパ滞在中にどうしても訪れたいと思っていたからです。見学の際には、より理解を深めるために、唯一公式に日本語でガイドをされている中谷剛さんにガイドをお願いしました。母語で詳しい説明を聞くことで、当時の出来事をより深く学ぶことができました。2 月は雪が多く残っていたため、暖かい時期に訪れることをおすすめします。ポーランドからトリアまでは長距離移動ではお馴染みの Flixbus 利用しました。中継地点が Berlin だったため、帰りは Berlin 観光もすることができました。

春休みについて

授業は 2 月の中旬頃に終了し、そこから 4 月の上旬までが春休みの期間となります。約 2 ヶ月ほど自由な時間ができるため、多くの留学生は旅行に出かけることが多くなると思います。ただし、3 月の上旬からドイツ語の集中講義が始まるクラスもあるため、旅行の計画を立てる際は注意が必要です。私は冬学期と同じように 3 月下旬から始まると思い込んでいたため、旅行の予定を入れてしまい、参加することが出来なくなってしまいました。

タンデムについて

最初にタンデムとは、お互いの母語をお互いに教え合う制度のことをいいます。トリア大学は日本語学部があるため、日本語を学ぶ学生が多く、私は10月から2人のドイツ人とタンデムを始めました。週に1度、3~4時間、交代で日本語とドイツ語で話したり、宿題について分からないところを教えあったりします。タンデムを始めて4ヶ月ほど経ちましたが、ドイツ語を話すことにだいぶ抵抗がなくなってきました。今でも文法を間違えたり、言葉が出てこなかったりすることは多々ありますが、少しずつ話せるようになりまします。留学に来たら是非タンデムに挑戦することをおすすめします。





左:カレル橋からの景色 右:「Kantýna」

左: ポーランド名物ピエロギ 右:アウシュビッツ強制収容所



左:ベルリンのハリボーショップ 右:ベルリンの壁